

基調講演

身近なところに潜むジェンダー問題を皮切りに、男女共同参画について各先生方の専門分野からご講演いただきました。

R2・R3年度

松山東雲女子大学・松山東雲短期大学・愛媛大学

笑って考えるあなたの未来
～ジャンボ宝くじを必ず当てる方法！？～



東京大学大学院
教授
瀬地山 角さん

学生の感想

「男性の家事が女性の就労を支え、女性の就労が男性を支える」という言葉が一番印象に残りました。

家事育児にかけている時間の差が男女間で約3時間も開いていることにとても驚きました。一方で、男性は自殺率が高いことから、男女それぞれのワーク・ライフ・バランスをよくすることが大切であることが分かりました。

R4年度

聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部

コロナ禍時代の男女共同参画
～家庭内性別分業に注目して～



お茶の水女子大学
理事・副学長
石井クンツ 昌子さん

学生の感想

日常の中で、無意識に「男性/女性はこうあるべきだ」という考えが、自分の中にあるんだと感じました。

名もなき家事の一覧を見て、母が「家事育児だけで一日があつという間に終わる」と言っていたのは、こうした細かい名もなき家事が積み重なっているからなのだと気がきました。

R5年度

松山大学

家庭内のジェンダー平等と
日本経済



東京大学大学院経済学研究科
教授
山口 慎太郎さん

学生の感想

男性の育休取得1か月がこれからの育児の姿勢や社会を変える大切な1か月になるということが分かりました。

「育休は伝染する」ということを大切にしようと思います。

「父親も子育てにより愛情ホルモンが分泌される」というのが面白いと思いました。

交流会 ～自分が思い描くライフデザインを考える～

下記のような応援宣言事業所の皆さんにご登壇いただきました。話題は、キャリアアップ、仕事のやりがい、仕事と家庭の両立、子育てや育休、資格取得や就職先を選んだ理由など、多岐にわたりました。松山で働くロールモデルの話聞くことで、学生の皆さんがこれからのライフプランを具体的にイメージする機会になりました。



R2～5年度
コーディネーター
NPO法人ワークライフ・コラボ
代表理事 堀田 真奈さん

R2～5年度にご登壇いただいた事業所の皆さん、ありがとうございました。

- 愛媛トヨタ自動車株式会社
 - 株式会社ファインデックス
 - トヨタL&F西四国株式会社
 - エルパティオ保育園
 - 株式会社フジ
 - 松山市地域包括支援センター三津浜
 - 株式会社伊予鉄グループ
 - サイボウズ株式会社
 - 有限会社ラポール
 - 株式会社愛媛銀行
 - 社会福祉法人 松山紅梅会
 - 株式会社クラス
 - 高齢者総合福祉施設 梅本の里
- (敬称略)



松山市男女共同参画推進センター・コムズ

- 所在地 〒790-0003 愛媛県松山市三番町6丁目4-20
- 開館時間 火～土 9時～21時 / 日・祝日 9時～17時30分
- 休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日)、12月29日～1月3日
- TEL 089-943-5776 ●FAX 089-943-0460
- E-mail coms@coms.or.jp



ホームページ



COM+S

2025.3
VOL.65
コムズ



若者のライフデザイン
支援事業報告号

Contents

- ▲若者のライフデザイン支援事業とは
- まどんな応援宣言事業所認証制度とは
- ◆講座の概要
- ◆参加者の感想

What's コムズ?

COMMON (共通の)、COMMUNICATION (コミュニケーション)、COMPANION (仲間)の接頭語「COM-(コム)」は「共に」という意味です。これを複数形にすることにより、男女を問わず多数の人が集う場所を表現しています。「+S」は男女みんな(複数)の平等と、プラス思考、プラスαなど、知り学び、創造し、伝えていく、前向きな姿勢を表現しています。

令和
6年度

若者のライフデザイン支援事業

参加大学

- 愛媛大学
- 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部
- 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学
- 松山大学

学生の皆さんと働き方について考え、話し合いました!

次世代を担う若者が、固定的性別役割分担意識を払拭し、自分らしい「働き方・生き方」を選択できる視点を養うとともに、自分が思う人生設計を考えるきっかけをつくるため、令和2年度から市内の各大学・短期大学を対象に実施してきました。令和6年度は、5年間の集大成として、これまで実施してきた事業報告や現状を踏まえながら「まどんな応援宣言事業所」とのグループトークや交流を通し、市内の学生の皆さんに、今後の就活や働き方について考えていただきました。



「まどんな応援宣言事業所認証制度」とは?

女性の登用・職域拡大など女性の活躍推進や男性の育休取得促進など仕事と家庭の両立支援などに取り組むことを宣言した事業所に対し、松山市と(公財)松山市男女共同参画推進財団が認証し、サポートを行うことで、事業所内男女共同参画推進の機運を高めるための制度です。まどんな応援宣言事業所一覧はコムズホームページでチェック!

ホームページ



学生と事業所の意見交換に際して



(コーディネーター)
松山市男女共同参画推進財団
理事長 桐木 陽子

今年度公表されたある全国調査によると、男子学生の7割が将来育児休業を取得したいと回答しています。性別にかかわらず仕事も家事・育児も両立したいと願っているということです。また、「働きやすさ」だけではなく「働きがい」も追求できる職場を探しているということがさまざまな調査により明らかになってきています。



グループトーク(事業所の紹介を聞いて)



学生さん

育休についての不安に対し、事業所の方に具体的に答えていただき、自分の将来像のイメージができました。



事業所さん

今の学生さんはどんなことを企業に対して求めていますか?

福利厚生が充実していること

こんなことを求めています!

安定した給与が大事

身だしなみの自由さ、ありのままの自分でありたい



学生のみなさん

出勤のコストや満員電車で詰り込まれるのが不安

参加者の感想

学生

このような講座を開くことで企業と学生の距離が近くなって良いと思います。合同説明会より率直なお話が聞ける機会となったと感じました。



学生

さまざまな企業の方々の本音や、入社の際にどのような質問をされ、どのように対応したのか等を聞くことができ、今後の就職活動に役立てたいと思いました。



学生

まず、このような就職について考える場に初めて参加したので、これからは今までより積極的に自分の将来や就職について考えることができると感じます。そして、実際に企業の方々に聞きたいことをフラットに聞ける機会が貴重だと思いました。



事業所

選考の場ではない学生さんと話す機会は少ないため、本音が聞ける有意義な時間でした。



事業所

今の学生さんがどのような考え方をもち、就職活動に励んでいるか生の声を聞くことができ、今後の参考になりました。



事業所

とても良かったです。学生さんが思った以上にしっかり自分と向き合い、どういう企業に入りたいのかを考えていることを知ることができました。



まとめ



学生さんへ

自分がどのような人生を送りたいかを考える。

自分が大切にしたい「価値観」「強み」はどのようなものであるかを明確にする。それを大切に生きるためのライフデザインを描く。

人生は選択の繰り返し、思いどおりにはいかないこともあるが、正確な情報を入手する、人と直接会ってアドバイスをもらうなどを通して進んでほしい。

事業所の皆さんへ

「まどんな応援宣言事業所」は、福利厚生が充実しており、さまざまな事情を抱え、働くことに何らかの制限がある方々への配慮が行き届いていましたね。一方で、企業はやはり業績を上げなければなりません。そのためにも、一人ひとりが常に新しい知識・スキルを吸収することが必要です。学び続けてください。大学での学びが全て将来の仕事につながります。明日からの授業に、これまで以上に真摯に向き合ってください。

人口減少が進む中、これまで以上に少ない人数で業務をこなさなければならぬことも多くなっていることと思います。継続的な業務改善と目の前の一人ひとりを大切に育てていただければありがたいです。そして、若い人、とくに女性たちが働きたいと思えるような事業所が増えることを願っています。多様な価値観や多様な知識・能力をもった若者たちが、自らの希望を実現できるような組織づくりを期待しています。住みやすく、働きやすいまち、それぞれの個性や能力を精一杯発揮できるまちになるよう、皆さんとともに手を携えて精一杯取り組んでいきたいと思っています。

ご登壇いただいた事業所

- 株式会社愛媛銀行
 - 株式会社愛媛CATV
 - 株式会社ゆうちょ銀行 四国エリア本部
 - 社会福祉法人 松山市社会福祉協議会
 - セキ株式会社
 - トヨタL&F西四国株式会社
 - パーソルコミュニケーションサービス株式会社 松山サポートセンター (旧 富士通コミュニケーションサービス株式会社)
 - 松山市役所
- (敬称略)

取り組みを一部ご紹介!

弊社は、女性、男性ともに、育児休業取得率100%です。管理者向けの研修資料を配布したり、育休を取得した社員の体験談やインタビューを社内報に掲載するなど、制度を利用しやすい環境づくりを行っています。



介護相談窓口があります。グループ企業の社員の場合は、電話やメールで相談ができます。



キャリアチャレンジ制度があり、それぞれがキャリアを描いて挑戦・成長できるように後押しをする制度が整っています。



各種研修制度が整っており、業務の一環としてさまざまな研修を受講することができます。



企業内託児所を設置しており、子どもをあずけて、安心して働くことができる環境づくりをしています。



子どもの看護のための休暇、介護休暇の制度があり、子育て・介護をしているスタッフが給料を気にせず休みを取ることができます。



弊社の営業職に占める女性の割合は30%です。産休・育休を経て復帰して働く女性社員が多くなってきています。



令和6年度は、管理職の40%が女性です。

